

かくどけい

KAKUDOKEI 2012

101号



社団法人熊本県理学療法士協会
広報誌「かくどけい」
平成 24年 1 月 30日 発刊



- 001 巻頭言 「人に添うということ(パートII)」 野間俊司
- 002 理事会報告
- 009 各部・委員会報告
- 学術部
生涯学習部
福祉部
規約審議委員会
渉外部
学術事業部
教育部
保険部
表彰審査委員会
宣伝部
法人事業審議委員会
事業部
- 013 事務局だより
- 014 くまもと北から南から
- 015 投稿規定
- 016 公益信託 玉井記念整形成外科学研究助成基金 平成 24 年度 募集要項
学術事業部 文献紹介
- 017 大観望 「「聴き方」の技術」 今屋将美
「チャレンジ！」 岩田輝彦
- 018 他士会便り 「臨床実習で学ぶべきもの、伝えるべきもの」 大阪 No. 228
- 019 学会・研修会印象記
「第 33 回九州理学・作業療法士合同学会に参加して」
- 020 よろず運動療法相談所 ～呼吸小委員会～
- 021 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 022 第 16 回熊本県理学療法士学会のお知らせ
- 023 市民公開講座 理学療法士からみた腰痛治療!!
- 024 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 025 国際医療福祉大学大学院紹介
賛助会員一覧
- 026 事業予定表
- 027 医療機器トピックス
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 人に添うということ (パートⅡ) 』

理事 野間 俊司 (鴻江病院)

新年も明け、幾分か経ちましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしですか？
さて今回は、以前参加した勉強会での事例発表に関わる事をお話したいと思います。

演者は、臨床経験が1年未満のキリスト教系の施設に入職した女性の理学療法士でした。彼女の勤務先である施設の入所児は、親の顔も知らず、麻薬やシンナーなど薬物中毒の親から出生した子どもだったり、未成年がトイレで生んでそのまま捨てた子どもとか、いわゆる不遇な境遇のもと、どこかに障害を持って生まれた子ども達が入所している施設で、発表は、その施設にいる2歳超の脳性まひ児(男)の症例発表でした。

その児は2歳を超えているにもかかわらず、どんなにアプローチをしても、首も据わらず、座位も取れず、発語も「アー・ウー」としか言わず、ウルトラマンにしか興味を示さない子どもだったそうです。また、彼女はその施設で雇われた初めての理学療法士で、結果を出す事を求められていたのですが、半年の間、自分の知りえる限りのアプローチを行ったにもかかわらず状態に全く変化が無く、どこが問題なのか教えてほしいという主旨の発表でした。余談ですが、この勉強会は、大学病院等に勤務する著名な理学療法士も多数出席し、この時もこの子どものアプローチに対して、理学療法士としてこの手技をやったらとか多様な意見が飛び交ったのですが、私の意見は周囲の先生方の意見と違いました。しかし、彼女は私の意見に一理あると思い、3ヶ月間それを行ったそうです。そうすると今までどんな訓練にも反応が見られなかったのが、首も座り、座位も見守りで取れるようになり、ハイハイでの移動も少しなら可能になったそうです。

そこでですが、私は彼女に「何をしたら？」とアドバイスしたと思いますか？

それは、ただ一言。「抱きしめてあげなさい」というアドバイスでした。ある意味、理学療法士として「抱きしめる」というのは、訓練と言わないのかもしれませんが。当然のように私の意見に対しても先輩理学療法士からそんなのは訓練ではないとか、専門的でないとかいろんな意見がでました。しかし、実際には回復が見られたのです。子どもは生まれながら成長する力を持っています。改善が見られた理由はいろいろあると思いますが、この行為が子どもの成長を促す事につながった事には違いありません。

その子どもにとって必要だった事は訓練ではなかったのです。その子は、生まれてこのかた、その子を取り巻く環境の中で「愛情」というものを知らずに育ちました。そこで彼女は、寮母さんから「〇〇君ばっかりひいきして」と愚痴を言われながらも、訓練中もその子を背負い、あるいは抱き、時間の許す限り子どもに触れ、できる限りの「愛情」を注いだ事で、本来子どもが持つ能力が呼び覚まされ発育が促されたのでしょう。

理学療法士として「人に添うということ」は、単に訓練を通して「隣にいる」事だけではありません。

その人の事を想い、苦しみや悩み、哀しみ、望みなど自分の事として考える事です。

他人の位置に自分を置き、自分の位置に他人を置くことで、その人の気持ちを察する事です。

例えば「いわし」を食べたいと思っている人にフレンチ料理を勧めても、その人にとっては「いわし」の方がおいしくでしょう。周囲が「フレンチ料理の方がおいしいのに・・・。」と思ってもその人にとっては違うのです。私は、様々な原因で意思疎通が出来ない人に対し、この方が「いわし」を食べたいと思っておられるとすれば、「いわし」を与えているだろうか？フレンチ料理の方がおいしいからと独善的に考え、それを勧めていないだろうか？と自問自答するようにしています。

可能な限り、その人の立場に可能な限り立って考える。

それが「人に添うということ」につながるとは思います。あなたは、人に寄り添えていますか？



理事会報告

平成23年度 第2回拡大理事会議事録(要約)

日時：平成23年11月2日(水)19:00～20:15

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・大脇・川上・田島・
野津原・野間・筒井・増田

(監事)寺川・中島

(部長・委員長)

山本(総務部)・岸本(調査資料部)・佐藤(広報部)・草野(宣伝部)・岩下(IT事業部)・今屋(学術部)・前田(教育部)・岩田(学術事業部)・星澤(生涯学習部)・西(福祉部)・保田(事業部)・溝田(規約審議委員会)・山下(表彰審査委員会)・大籠(法人事業審議委員会)・奥村(選挙管理委員会)・溝上(糖尿病小委員会)

(事務局員)坂本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)飯星・三宮・光本

(相談役)森重

(部長・委員長)

福島(庶務部)・久米野(財務部)・藤原(厚生部)・江藤(保険部)・市原(小児領域小委員会)・前本(呼吸領域小委員会)・西村(スポーツ領域小委員会)

書記：田中・藤本

(介護老人保健施設おとなの学校本校)

1. 報告事項

1) 平成23年度上半期事業報告 【各部・委員会】

◇総務部 (山本)

上半期：文書関係、会議の準備、議事録の作成など

次年度：遅くとも11月の中旬まで報告書の提出

◇庶務部 (坂崎)

上半期：名簿の作成

下半期：同様、事務局の整理

次年度：会員管理

◇財務部 (坂崎)

上半期：会費の管理、各部の事業費収入管理をする。

下半期：決算・交通費の申請は3/11までに報告する。

研修会参加領収書発行は開催日の2週間前までに連

絡する。弁当は概ね500円以内。

◇調査資料部 (岸本)

上半期：熊本PTの需要と供給の動向について、公文書を発行し調査票を回収。11月に調査を終える。

下半期：2月の熊本県PT学会のアンケート調査。

次年度：PT協会会員を対象に動向調査行う。

◇渉外部 (坂崎)

上半期：障がい者の差別をなくすための条例やねんりんピックに協力した。熊本城マラソンの準備。

下半期：熊本城マラソン協力。賛助会員懇談会開催。

◇広報部 (佐藤)

上半期：かくどけい97号～99号配布。

下半期：100号～102号発行予定。100号記念誌発行。

次年度：CD-Rか冊子かなど検討する。

◇宣伝部 (草野)

上半期：入会案内、PT週間のポスター掲示、PR活動でパンフレット配布、健康フェスティバルユニフォームの貸し出し。

下半期：熊本健康フェスタ参加、パンフレット配布。

次年度：一般向けの事業もPR活動できたらいい。

◇IT事業部 (岩下)

上半期：4月から新ホームページを作成。アクセス件数分析

次年度：一般向けの掲示の企画を検討、ホームページ更新状況確認、アクセス件数等の分析

◇学術部 (今屋)

上半期：PT講習会、第1回学術研修会終了

下半期：第2回、第3回(1/29)も開催予定

次年度：理学療法士講習会(応用編)、学術研修会3回、PT講習会開催予定

◇教育部 (前田)

上半期：6月管理者教育カリキュラム

7月コミュニケーションスキル研修会

8月第2回管理者教育カリキュラム

卒後教育研修会～各ブロック地区で研修会スタート

下半期：10月第3回管理者教育カリキュラム、臨床

実習指導者研修会、12月第4回管理者教育カリキュラム、1月臨床実習教育研修会予定。

卒後教育研修会12月で終了予定。

◇学術事業部 (岩田)

上半期：8月は公開講座を行う40名参加

下半期：書籍の購入、研究予定受付を行う

2月書籍の貸し出し事業予定

◇生涯学習部 (星澤)

上半期：第1・2回新人研修会終了

下半期：10月第3回新人研修会終了

11月第4回新人研修会開催

次年度：日本協会の方針にて事業内容変更

①年次テーマごとの受講 入会3年で新人教育プログラムを終了してほしい。

②講師について、理事・役員に講師をお願いしたい。症例検討Ⅱは日本理学療法士協会から発表しなくても単位を取って良いとの話がある。

◇福祉部 (西)

上半期：8月「障害を持つ子供たちの理解」というテーマで介護教室を開催。9月福祉研修会「地域リハにおける理学療法の展開」開催。

下半期：2月「介護保険領域の企業展開」講義予定

次年度：介護教室は8月予定。9月福祉研修会は、熊本県民交流館にて「命の授業」というテーマで講義予定。介護保険領域における研修会(2月)も検討中。

◇事業部 (保田)

上半期：7月ピタッと健康講座 9月介護支援専門員講座が終了

下半期：グランドゴルフは11/12へ延期。

◇規約審議委員会 (溝田)

上半期：委員会の引き継ぎと申し送り

◇表彰審査委員会 (山下)

上半期：平成22年度のりんどう賞の表彰、医療功労者のリストアップ、日本理学療法士協会の協会賞のリストアップ

下半期：新入会会員の表彰に関するデータの収集と2年に1度の全会員の表彰に関するデータの収集。

新入会会員の入力環境が整っていないためかくどけい等により入力を促す。

平成23年度のりんどう賞をリストアップする。

次年度：表彰に関する対象者のリストアップ、新入会会員の表彰に関するデータの入力を行う。

◇法人事業審議委員会 (大籠)

上半期：3回会議開催

下半期：11/28に4回目 1月・3月も開催予定

次年度：開催時期を代議員総会、全国士長会議に合わせて行う予定

◇選挙管理委員会 (奥村)

下半期：来年の3月総会での役員選挙の準備を行う。

次年度：日本理学療法士協会の代理員の選挙を行う予定。公益法人の変更に伴う選挙規約の見直し。

(前田)

公益法人の申請は新定款の提出が必要であり、新法人では理事名簿を提出しなければならない。今のやり方でよいのか、選挙をするべきなのかどうかを早急に確認する。例年では11月のかくどけいで選挙の案内をしている。

◇糖尿病小委員会 (溝上)

上半期：各保健所での活動として糖尿病と運動について話した。

下半期：10月糖尿病ウォークラリーが行われ、その際データ収集を行った。

10月代謝領域の現職者講習会・理学療法士講習会(基本編)開催。

平成23年度糖尿病小委員会研修会は2月5日「糖尿病～合併症の闘い～」についての講義予定である。

次年度：PTで糖尿病療養指導士を取得している人が少ない。資格を取っても続かないのはなぜか。11月小委員会で話し合う。

2) その他

(大島)

教育部からスーパーバイザーの手引きを発刊している。各施設へ配送済み。

(前田教育部長)

11月27日九州ブロック臨床実習研修会の参加は現在76名予定である。100名程の予定であり期間に余裕があるためホームページに31日で締め切りになっているが直接電話での問い合わせにて受付可能という事を広報する予定である。

(前田)

公益事業として視野を広げると医療関係全域になる。

公益法人をとると基本的には年に1回の総会で済む。

拡大理事会で次年度の計画をどう進めていくかが大事。これは執行役員の権限が非常に大きくなる。

詳細な情報を流す。部長と局付けの理事・副会長・事務局長とのすり合わせを入念に行わないと進めなくなっていく。局付け理事にはある程度詳細な情報を言う。下で決まっていそれを公表されても理事会で認められないこともあるかもしれないため。

(坂崎)

12月第1水曜に部長会議にて次年度事業計画の概要を確認し、日程の調整等が入ってくる。

11月中旬までには次年度の事業計画を挙げる。

12月14日の理事会にて内容を検討予定。

(会長)

- ・進捗状況を見ながら目処がいたらブロック訪問を実施したい。
- ・再来年度から県協会の組織形態変更予定。
- ・現在各部局の編成
- ・分野別小委員会及び理学療法士協会の専門部会の関係について

以上の4点を検討している。

来年の第1回の総会で大方の概要を説明し、組織の変更を行うための承認を頂きたい。

ブロック訪問では楽天カードの作成などがまだ滞っているため声かけなどを行う。

以上、閉会。

平成23年度 第9回理事会議事録(要約)

日時：平成23年11月2日(水)20:25~21:55

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・大脇・川上・田島・野津原・野間・筒井・増田

(監事)寺川・中島

(事務局員)山本・坂本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)飯星・三宮・光本

(相談役)森重

(事務局員)福島・久米野

書記：田中・藤本

(介護老人保健施設おとなの学校本校)

[その他報告事項]

1) 平成23年度上半期事業監査報告

【寺川監事・中島監事】

平成23年10月28日に事業監査・会計監査を実施した。指導事項①事業に対し、緊急時にも対応できる備えを期待する。②理事会協議事項に関して、事前に内容を確認しておいて欲しい。③下半期の事業において、理事は公益法人制度との整合性のある事業が施行されるよう指導に努めて頂きたい。④速やかに事業報告がなされるよう指導して頂きたい。⑤広報誌がCDへと変更になり会員への情報提供への達成度が低下した印象があるので、協会ホームページと合わせその対応について協議して頂きたい。

2) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)10月20日木曜日21時44分申請終了。

12月・1月修正、2月審議会等を経て4月認定予定。

◇情報共有推進化特別委員会

(筒井)ホームページの修正・追加項目を検討。

11月1日より開発スケジュール稼働。

◇訪問リハ対策特別委員会

(大脇)11月30日に訪問リハの研修協議会が開催。

今年も排痰吸引の研修会を開催予定。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)ねんりんピック無事終了。

熊本城マラソンについて検討予定。

◇組織検討特別委員会

(会長)10月20日に第5回開催。次回は11月21日に組織図について検討予定。

3) 平成23年度研修会等の変更について

○第3回学術研修会

【学術部】

【変更後】

講師：高草木薫氏

(旭川医科大学 脳機能医工学研究センター
教授)※講師所属名称の訂正

テーマ:「セラピストのための脳・神経科学」

4) 学術部の研修会ビデオ撮影について

【教育学術局】

研修会時に原則、ビデオ撮影を継続して行う。

(会長)後の協議事項で検討。

5) ねんりんピックについて

【渉外活動推進特別委員会】

平成23年10月16日(日)・17日(月)に開催。

北里会長他11名参加。

6) ホームページ情報公開について 【前田副会長】

県庁医療政策課津田様より電話あり。

協会HP情報公開にて収支予算書が公開されているが、内部書類の扱いであるため貸借対照表か正味財産上限表が望ましいとのこと。会長・専務理事に報告のうえ、HP修正済。

7) その他

(筒井)10月23日に理学療法基礎研修会開催。

2. 協議事項

1) 学会記録誌の発行停止について【学会評議員会】

学会評議員会では、2年毎に学会記録誌を作成している。昨年度はCDによる発行を行ったが、内容的に学会抄録誌と変わらないものであった。よって、今後の発行を停止することを提案したい。

(大島)冊子を記録として残す必要があったため、2年に1度作成していた。学会での質疑を載せ記録として残していこうというのが目的である。

(坂崎)国会図書館に登録することを1つのキーワードにしてレベルアップを図っていくために、記録を残しておいた方がいいのではないかと。

(会長)現在の形で、抄録誌をまた集めたような形で学会記録誌を作成することを、今後は取り止めにする。(全員賛成)

(田島)来年度の予算組のためにも事前に決定してもらわなければならない。

(会長)これは発行を停止することで決定する。

2) 第30回協会賞受賞候補者の推薦について

【事務局】

(会長)今年度は該当なしで推薦なし。

3) テーピング講習会の広報について

【スポーツ領域小委員会】

テーピング講習会に際しての広報が懸念される。理事会で検討いただきたい。

(会長)対象を絞って広報方法は検討する。時間がなければ野津原理事と三役で対応する。

4) 研修会、その他の広報方法について【大協理事】

公益法人化を推進するにあたり、研修会や公開講座の対象がPT・OT・ST・その他の医療職種となる機会が増えている。今後協会として広報のあり方について、各部単位任せの方法ではなく協会として一貫した広報戦略を考察すべきだと考える。

(会長)組織検討委員会で、広報の戦略として活動できる機構を検討している。

(田島)広報活動をまとめて研修会に応じて広報すると効率よくできる。予算立ての時に、広報を引き受けて窓口として行ってくれるとあらゆる展開の時に柔軟に対応できるのではないかと思う。

(会長)将来的なビジョンをもって何のために事業をするのか、どのようなものを発信していくか。組織検討委員会では広報部門に、外向けと内向けの広報を作っていければと考えている。広報もしくは組織戦略等に意見をいただきたい。

(坂崎)宣伝部のノウハウを提示してもらいたい。

5) 学術部の研修会ビデオ撮影及び管理について

【教育学術局】

① 保管方法について

: 台帳管理は学術事業部に依頼、保管場所は協会事務所でよろしいか。

② 撮影に関する同意書(案)について

③ 研修会を開催する他の部も検討が必要。

(会長)台帳管理は学術部が管理する。保管場所は協会事務所で行う。

(前田)前回と今回の同意書を掲示して今後の理事会で会議をしたがよいのではないか。

(会長)同意書の条件として、前は、貸出が出来ることを前提にしていたが、今回は、不特定多数には見せないことを前提としている。③に関しては、学術部だけではなくて他部も同様である。②③に関しては、次回どうするか決めたい。

6) 阿蘇圏域内脳卒中地域連携クリティカルパス推進事業に伴う職能団体への研修支援について

【北里会長】

(会長)熊本県医師会からの話。該当する研修会に行く方が申請すると少し費用の助成がある。菊阿地区の地区長には私から説明をしたい。

7) 連携学会におけるシンポジストの選出について (第8回理事会継続審議) 【野間理事】

(野間)平成24年3月20日に行われ、「地域包括ケアの中での訪問リハについて」がテーマとなっている。協会の代表として12月末までに話す内容を出してほしい。地域包括ケアについて話してもらえばと思う。(会長)訪問リハ特別委員会でどなたかの選定をあたってほしい。

8) 熊本城マラソン対応について【坂崎専務理事】

(坂崎)提案をもって行きたいので、何人動けるのかを確認したい。段取りを検討頂けたらと思う。

(会長)スポーツ小委員会としてどんなことがやれるのか、やりたいのかを出してほしい。必要な機材や対象者の保険に関しても検討してほしい。

9) その他

(前田)理学療法士協会というのぼりや事業に絡めて対応できるセットなどを準備することが今後の活動の中で重要と感じた。また、国会図書館に向けての動きをどのように進めていくかを決めていかないと棚上げになるのではないかと思った。

(会長)ボランティアセットについては旗を作る。必要物品は野間理事と前田副会長がピックアップをする。

公益事業に絡めて将来的に考えて、学術誌を国会図

書館に登録することや広報戦略に関して意見を考えてほしい。

(増田)今後、組織の再検討を考えていく時に協議をして議決をしていく運営委員会などをつくってはどうかと思う。組織検討委員会に提案したい。

(会長)了解。

以上、閉会。

★次回理事会：平成23年12月14日(水)

第10回理事会(12/14)書記調整：三宮理事

第3回拡大理事会・第11回理事会(1/11)

書記調整：前田副会長

平成23年度 第10回理事会議事録(要約)

日時：平成23年12月14日(水)19:00～22:30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・川上・三宮・

田島・筒井・野間・増田・光本

(監事)中島(事務局員)坂本(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)大脇・野津原(監事)寺川(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野

書記：西・吉坂(熊本機能病院)

[その他報告事項]

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)12/13に県庁にて、文言修正や表記方法に関する指導を受けた。年内に資料を作成し、年明けには県に再提出、2月の審議会に間に合わせたい。

◇情報共有推進特別委員会

(筒井)特になし

◇訪問リハ対策特別委員会

(大島)訪問リハ研修協議会の排痰研修会が2/5に決定。訪問リハ対策特別委員会について来年度も活動を継続すべく検討していただきたい。

◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)熊本城マラソンについて市役所の実行委員会へ確認し、ボランティア保険には加入可能。来週、FAXにてボランティアを再募集する予定。

(会長)協力できる会員を募集。また、理事の中から熊本城マラソン支援の責任者を選出したい。

◇組織検討特別委員会

(会長)政策企画室(仮称)を設置することを検討。12/19の会議にて委員会や部局の編成をすすめる。

2)平成23年度研修会等の変更について

○県民スポーツ大会 【事業部】

【変更後】 期日：平成23年11月12日(土)

会場：富合中学校

○第3回学術研修会 【学術部】

【変更後】 場所：熊本保健科学大学

○臨床実習教育研修会 【教育部】

【変更後】 テーマ：

「悩んでいませんか？臨床実習教育の進め方！『臨床実習の課題と対応～Supervisionを考える～』」

○糖尿病小委員会研修会 【糖尿病小委員会】

【変更後】 期日：平成24年2月5日(日)

場所：熊本リハビリテーション病院

テーマ：「糖尿病～合併症との闘い～」

○第1回小児勉強会 【小児領域小委員会】

【変更後】 講師：藤本茂雄、浪本正晴

○第2回小児勉強会 【小児領域小委員会】

【変更後】 期日：平成24年2月5日(日)

講師：増岡結美、松本浩二

○第2回テーピング講習会【スポーツ領域小委員会】

【変更後】 期日：平成24年2月26日(日)

2. 協議事項

1)平成24年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】

・概要

(坂崎)公益事業について、公益事業1(広く県民に対しての事業)では『PTあ!(ピタ)』っと健康講座等、公益事業2(客体的公益事業)は講師派遣等、公益事業3(会員・医療関係職種を対象とした事業)は、県学会を開催事業等になる。

・公益法人対策特別委員会について

(会長)公益法人化が達成されるかどうか問題であり、達成されなければ来年も継続した重点事業となる。法人取得後政策企画室への移行をスムーズにす

るためにも1年間継続する。

・情報共有推進特別委員会について

(会長)IT事業部に機能をもたせるか検討が必要。管理運営のみでなく、戦略的な広報が重要なため、次回の組織検討委員会で検討。

・訪問リハ対策特別委員会について

(会長)その活動は継続する必要があるが、どのような形で行うか委員会の中で検討してほしい。

・渉外活動推進特別委員会について

(坂崎)ねんりんピックなどの活動を通じ問題点が把握できたため、来年度は特別委員会を継続しては。(会長)政令指定都市となる熊本市との交渉を行うことを前面に出すためにも、特別委員会を継続する。(理事)承認。

・組織検討特別委員会について

(会長)組織検討特別委員会については、来年度の途中で承諾をいただくまでは継続する必要がある。

・ブロック訪問について

(田島)全国協会の組織や活動が大きく変動しているので、情報提示が必要。

(坂崎)組織検討の1つにブロックの再編がある。

(会長)組織検討特別委員会の活動の中でブロック訪問を行う。全国・県協会の動向についてもブロック訪問で説明し意見を聞く。組織検討特別委員会の活動内容にブロック訪問を組み込む。

・新人発表会について

(会長)生涯学習に関して、新人発表会は廃止となる。形としては残しても良いが、義務としない。

・小児領域小委員会の事業について

(筒井)小児患者対応施設を増やす支援を検討中。

(会長)小児へ理学療法を提供できる体制が整っていない。公共性の立場から推進していく。広報の方法や予算も検討してほしい。

・かくどけいについて

(会長)閲覧状況が低い。広報部からは、各施設に一部ずつ冊子を配布する案と、今年度と同様案があがっている。

(前田)もう1年くらい検討しても良いのでは。

(田島)大半を優先してHPだけとするのはどうか。

(会長)2案に加えて発送はしないという案のいずれが良いか。多数決をとる(7/10名)。郵送はしない方

向で決定し、HP を閲覧する方法を広報部と IT 事業部にて検討。一定期間のアナウンスを通して、システムを変更する。関連団体への発送は継続する。

・ **総会について**

(会長)開催回数は来年も 2 回で予定。

・ **内部障害に対する理学療法研修会について**

(筒井)次年度の講師を千住氏・大重氏・原口氏に依頼。

・ **次年度予算案の確認**

(坂崎)総収入は 28,461,000 円となる。予測では 300 万円程度の赤字。周年事業積立金を取り崩し、10 周年目の健康講座と法人祝賀会に当てる。また、事務局にパート職員を加える予定。

2)平成 24 年秋の叙勲及び褒章候補者推薦について

【事務局】

(会長)該当者なし、今回は推薦者なし。

3)保険部部長の交代について **【保険部】**

(光本)江藤部長が体調不良。暫定的に光本が部長を兼務すると部会で決定。

(会長)理事の兼務は望ましく無い。早期に後任の決定を。難しければ事務局付け理事による推薦を。

4)平成 23 年度賛助会員懇談会日程調整について

【渉外部】

(会長)多数決結果、1 月 27 日開催に決定。

5)平成 24 年度『PT あ!(ピタ)』っと健康講座の講師について **【事業部】**

次年度の『PT あ!(ピタ)』っと健康講座について講師料を、2 名で 35 万程見込んでいる。

(会長)事業部が交渉している。最終確定にはなっていない。理事会としてはこの額で承認。

6)会員メールアドレスの周知について **【ブロック】**

(飯星)会員メールアドレスをブロック長・地区長へ周知いただけないか。

(会長)協会が総てを把握していないのでできない。

7)県南ブロック学会開催について **【ブロック】**

(飯星)平成 26 年度熊本県理学療法士学会は県南ブ

ック担当であるが、八代ブロックとの合同開催はできないか。八代ブロック長の了解は得られている。(会長)学会評議員会で承認ができれば良い。

8) 渉外セットについて **【前田副会長】**

(前田)ねんりんピックに参加。筆記具やパンフレット・パネルなどを事前に準備したほうがよい。購入すべきものがあれば、次年度予算に組み込み対応して、今後の活動に活かしたい。

(全員)承認。

9)学術部の研修会ビデオ撮影及び管理について

【教育学術局】

(会長)講師に撮影を同意して頂いた場合は撮影し、事務局で保管、視聴することに関しては許可する。

10)連携学会におけるシンポジストの選出について

【野間理事】

(大島)診療報酬の改定ポイントを分かっている人、今後の需要展開ができる人を中心に交渉したい。

11)熊本城マラソン対応について **【坂崎専務理事】**

(坂崎)ボランティアを 15 名ほど募る予定。

12)その他

・ **九州ブロック学術担当者・臨床実習担当者会議について**

(会長)当該会議では決定件がないので、再度、士会長会議に意見を述べないといけない。熊本県の意見は同時開催でよいか?

(全員)承認。

・ **障がいのあるひともないひとも共に生きる街づくり条例について**

(会長)条例説明会がある。都合のつく方は参加頂きたい。

・ **会費未納者について**

(坂崎)各施設で声かけをお願いしたい。

以上 閉会

各部・委員会報告

学 術 部

部長 今屋 将美

新年あけましておめでとうございます。本年も学術部を宜しくお願い致します。新年早々気持ちも新たに目標や抱負を掲げられた方も多いかと思えます。今年も学術部は会員皆様に質の高い研修会の企画・運営を行っていく所存です。今後も学術部の活動にどうぞご期待下さい。

それでは、現在までに開催された研修会報告をいたします。

【終了報告】

○第2回学術研修会

期 日：平成23年11月5日～6日（土、日）

テーマ：「臨床で活用できる呼吸理学療法・最新の理論と技術」

講 師：堀江淳先生（神戸国際大学理学療法学科）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：医療関係職種

受講者：36名（会員34名、会員外2名）

所 感：第2回の学術研修会は、神戸国際大学リハビリテーション学部の堀江淳先生をお招きして、「呼吸理学療法・最新の理論と技術」と題し2日間に渡り開催されました。

初日は、講義形式で、呼吸理学療法に必要な解剖生理、血液ガスのデータのみかた、スパイロメーターの活用法やデータの解釈に関し、わかり易く解説していただきました。

2日目は、フィジカルアセスメント、リスク管理の重要性や実際の評価（触診やシャトルウォーキングテストなど）と呼吸理学療法（排痰法や呼吸介助など）のポイントに関し、実技を交え丁寧にご教授くださいました。その他、実際に処方されている気管支拡張薬の情報、在宅酸素療法、人工呼吸器の基礎知識、痰の吸引に関する事など、呼吸療法認定士の受験を考えている方に必要と多くの事項も詳細に解説していただきました。

研修会を通し、呼吸理学療法を科学的に捉え、客観的な指標をもとに、情報を収集していくとともに、対象者の方々や他職種の方々に情報を発信していくことの重要性を痛感しました。参加者の方からも、呼吸理学療法の基礎から再学習することができ、エビデンスに基づいた治療の必要性を改めて感じましたという感想も聞かれ、改めてより良い理学療法とは何かを考える機会となる有

意義な研修会でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



（担当：九州中央リハビリテーション学院 石原靖之）

○第3回学術研修会

期 日：平成24年1月29日（日曜）

テーマ：「セラピストのための脳・神経科学」

講 師：高草木薫先生（旭川医科大学 脳機能医工学研究センター 教授）

会 場：熊本保健科学大学

対 象：医療関係職種

定 員：120名

※詳細は次号にてご報告致します。

【終わりに】

平成24年度も目玉企画を準備中です。県士会HPを定期的にご覧頂き、研修会スケジュールをチェックしてください。

生涯学習部

部長 星澤 厚志

※変わります!!生涯学習システム!

次年度より、生涯学習システムが大幅に変更となること
が決定しました。大まかな変更内容は下記の通りです。

- ・新人プログラム修了単位数の変更 (18 単位から 15 単
位へ)
- ・新人プログラムは、必須項目 5 項目と選択項目を受講
することで修了できる。
- ・選択項目に関しては、各県土会に一存する。
- ・生涯学習手帳の廃止 (ホームページ上での管理に一元
化)
- ・修了年度の変更 (3 年から 1 年へ)

現在、大幅なシステム変更に関して検討を行っている
ところです。書面ではなかなか上手く伝わりませんので、3
月の総会時および5月に説明会を予定しております。詳
細はそちらでご確認ください。

※ご不明な点は…

kpta.1ld@gmail.com にて受け付けています。
お気軽にどうぞ!

福祉部

部長 木原 伸一

今後の福祉部の活動について報告します。

来る平成 24 年 2 月 4 日 (土) に、介護保険領域における
研修会を、「介護保険領域における起業や展開について」
というテーマで、九州中央リハビリテーション学院にお
いて開催します。

講師は、全国在宅リハビリテーションを考える会 理事
長でもあられる、「(株) 誠和医科学 塩中 雅博 先生」
です。起業され、全国的に最前線で展開されている
塩中先生に、医療・介護保険制度改定前の情報や、ど
んな戦略や展開を図られているのか、などをお話いただ
けたらと思っています。

現時点の情報では、訪問リハビリや通所リハビリに関
係する部分での見直しや改定が行われそうです。

今後の私たちのリハビリテーションにおける展開や展
望についてぜひ皆様と一緒に考える機会になればと思っ
ていますので、多くの会員の皆様方や各施設の関係者の
方々のぜひ多くのご参加をお待ちしています。

規約審議委員会 委員長 溝田 康司

今回の活動内容について報告させていただきます。

<2011 年 10 月 24 日>

平成 24 年度事業計画(案)および予算(案)を事務局に提
出

<2011 年 11 月 2 日>

拡大理事会出席。平成 22 年度上半期報告と今後の予定に
ついて報告。

<2011 年 11 月 25 日>

事務局長より平成 24 年度予算(案)の修正案提示。了承で
回答。

<2011 年 12 月 2 日>

部長会議所用にて欠席

本年度上半期および現在まで当委員会に諮問された
事案はないため委員会開催等はありませんが、公益社団
取得後の本会諸規定の見直しが予測されることから、必
要に応じて対応してきたいと思えます。

渉外部

部長 坂崎 浩一

熊本市介護認定審査会審査員調整

平成 24 年度から、市域拡大にともない熊本市介護認定
審査会合議体も増えることとなった。当会からも 8 名 (現
7 名) の審査委員を推薦した。

熊本城マラソン支援について

平成 24 年 2 月 19 日開催の第 1 回熊本城マラソンにつ
いてボランティア参加をすることになった。二の丸公園
横の催し物広場にテントを設営し、マラソン終了後のラ
ンナーに対しアイスマッサージ等を行う予定である。

熊日スミセイさわやか介護セミナー 講師派遣調整

光本理事 他 4 名

熊本県立あしきた青少年の家 主催 社会教育指導者・野 外教育指導者自主ゼミ事業 講師派遣調整

学術事業部

部長 岩田 輝彦

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお
願い致します。

学術書籍の貸し出し事業について

平成 24 年 2 月 19 日に開催されます熊本県理学療法士
学会にて学術書籍の貸し出しを行います。この事業はよ
り多くの会員の皆様がこの事業を利用して頂くと共に、
貸し出し事業の周知を目的に行っています。学会にご参
加の際は是非ご利用をお待ちしております。

新年あけましておめでとうございます。

教育部部長の前田です。

昨年は、大変お世話になりました。1月をもちまして、教育部の今年度研修会事業が終了いたします。これも一重に皆様方のご協力のおかげです。心よりお礼申し上げます。2012年も教育部一同、頑張ってまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願ひ致します。

では、各班の報告です。

◎卒業教育班：各ブロック・地区では随時卒業教育研修会（初級編・中級編）が開催されております。12月にはほとんどの卒業教育研修会（ブロック・地区開催分）が終了しました。運営いただきました、各ブロック長・地区長、運営スタッフの皆様、研修会に参加いただきました皆様、ありがとうございました。卒業教育班では、各ブロック・地区の皆様、よりスムーズに研修会を開催・受講していただけるよう、開催担当の皆様と連絡を取り合っております。お忙しいとは存じますが、次年度も引き続き積極的にご参加いただきますようよろしくお願ひ致します。ご意見・ご要望がありましたら、今後の参考にいたしますので、ぜひ協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記E-Mailアドレスへお寄せ下さい。

最後に、毎年教育部卒業教育班主催で行っております「卒業教育研修会（コミュニケーションスキル研修会）」は臨床経験を積み毎に違った学び（理解）になるようにと、3年で一回りするよう考えて、作っております。以前参加した方も、新たな発見や気づきを得る事が出来ると思います。ぜひご参加いただきますようお願い致します。

◎臨床実習教育班：「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、協会ホームページ

<http://www.kumamoto-pt.org/>より.pdfにてダウンロードできますので、ぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の方で、この手引きを育てていただければと思ひます。

また、平成24年1月22日（日）に行いました、平成23年度臨床実習教育研修会につきまして、多数のご参加を頂きましてありがとうございました。昨年、一昨年同様、星城大学の川大裕行先生をお迎えして、スーパービジョンを中心に臨床・養成校双方の視点で臨床実習教育のあり方についてお話いただきました。川大先生には熊本県版スーパーバイザーの手引き作成にもアドバイスを頂き、今回の研修会でも一部使用していただきました。いかがでしたでしょうか？次年度も、2回の研修会を予定し、そのうち1回は基礎編として「新人教育プログラ

ム」の必須研修として行い、もう一つはトピックス編として、旬な講師を招き、より現場に即した、また参加できるようなコンテンツで皆様をお待ちしております。数多くのご参加を心より待ち致しております。

◎管理・運営教育班：12月15日（木）～16日（金）に管理者教育カリキュラム（第1ステージ）最終クールが開催されました。QC手法を用いて問題解決と対策立案を講義と実践を交えて、15日午後から16日終日の1日半じっくりと学んでいただきました。終了後「喜びの貯金箱」というゲームを行い、グループ内でのコミュニケーションや洞察力の重要性を体験していただきました。終講式では北里会長よりお一人お一人に修了証が授与され、19名の第2期生が管理者教育カリキュラムを終了しました。ご協力いただきました関係者の皆様、お忙しい中受講していただいた皆様に心から感謝いたします。今後も良い学びを提供できるように運営してまいります。また、第2ステージの計画も徐々に進行し始めております。ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆もう覚えていただけましたか？教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第5版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒業教育での課題と思われる、基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対する、ご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

新年あけましておめでとうございます。

今年は診療報酬・介護報酬ダブル改正の年となっております。詳細については2月中旬以降示されるものと思われまふ。情報が入り次第出来るだけ早急に対応していきたいと考えております。

またH24年度の事業としましては例年通り2回の研修会と電話FAXでの問い合わせ、保険関係CDの配布等を行って参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、『平成23年度協会会員表彰』の候補者推薦の時期になりました。協会表彰規定により、『りんどう賞』: 本会の活動において、著しく貢献したと認められる者（協会としては比較的若い会員を該当者としており、新人賞的な位置づけをしております）に該当する会員の方を、ご推薦下さるようお願い致します。昨年は、1名の先生方が受賞されております。各部部长・各委員会委員長および各ブロック長の方々は、一人でも多くの推薦をよろしくお願い致します。表彰は5月に開催予定の『平成24年度第1回 熊本県理学療法士協会総会』におきまして、行われますので、本年4月末日までに、ご推薦下さるようお願い致します。

また、「かくどけい100号」にて、平成23年度新規入会の会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」ならびに、2年に1度実施しております、全会員さまを対象とした「表彰に関する資料データの更新」を依頼しましたが、データ入力いただいた会員方が少ないようです。改めて、「かくどけい100号」をご覧になり、「**表彰に関する資料データの入力・更新**」をお願い致します。

<推薦書提出および問い合わせ先>

〒869-0502 宇城市松橋町松橋 1445 番地 1

宇賀岳病院 リハビリテーション部

TEL: 0964-32-3111 (内線: 695)

E-mail: ugadake-rihashien@reimeiki.jp

担当: 山下 智弘

宣伝部 部長 草野 隆夫

H23年12月13日(火) 19:00~ 事業部会議へ参加

場所: 菊南病院 参加者: 草野

内容: 平成24年度第10回くまもと「PTあ!(ピタ)」
っと健康講座の準備

開催日: 平成24年8月5日(日)

【確認事項】

- ・今後のタイムスケジュール
- ・準備事項での責任者の決定
- ・宣伝部の関わり方

ポスター掲示(5月~8月)

パンフの郵送先(高校・医療系の養成校)

地域(熊本市内及びその周辺)

※宣伝部との連絡者(事業部: 山部氏)

○次回の会議開催日: H24年1月24日(火)

○次回の会議開催場所: 菊南病院

ユニホームの貸し出し

H23年12月5日・6日 第2回学術研修会

H23年12月12日 事業部: 県民健康スポーツ大会

法人事業審議委員会 委員長 大籠 安男

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え、仕事にプライベートに新しい目標を掲げ、取り組まれている方も多いのではないのでしょうか?

私の職場では、年末にスタッフルームにある24台のデスク、その上に積み重なった書類の山を一掃。個人的に今年掲げた目標達成に向け、とてもすがすがしい気持ちで一年のスタートをきることができました。今年も良い年になりそうです。

さて、当委員会の昨年の活動として、6月に全国理学療法士協会代議員総会(6月開催)の資料をまとめ、会長並びに5名の代議員へ報告いたしました。その他8月・9月・11月に会議を開催しております。

我々が所属する日本理学療法士協会の動向として、協会組織の抜本的改訂、包括的管理システム、生涯学習システムの見直し、戦略的広報、訪問リハステーション、平成24年度診療報酬・介護報酬同時改訂…等々、重要案件が山積している状況下、“闘える組織化”を進めてあります。そして、今年度公益社団法人の申請がとおり平成24年度より“公益社団法人日本理学療法士協会”が誕生します。さらに国民利益への責務を担うこととなります。我が熊本県理学療法士協会も同様に、現在公益法人認可取得のため会長並びに担当理事の先生方で取り組まれています。

“公益法人化”皆さんはどのように捉えていますか?

広い視野と志を持って、目の前の小さなことを行なっていく事も必要だとも思います。

皆で当協会を盛り上げて行きましょう!!

今年も宜しくお願いいたします。

事業部 部長 保田 佳史

あけましておめでとうございます。

事業部では本年度の事業を終了し来年度に向けて準備を進めています。来年度は『くまもと「PTあ!(ピタ)っと健康講座』が第10回目ということで普段よりも力を入れて準備を進めております。皆様に様々な協力を依頼することになると思いますがその際にはよろしくお願ひいたします。詳細がきまりましたらまた「かくどけい」にてお知らせいたします。

事務局だより

〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www.kumamoto-pt.org/>

会長行動録

- 11/07 熊本県健康づくり県民会議：熊本庁
- 11/08 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会：九州中央リハビリテーション学院
- 11/12 熊本県理学療法士協会杯グラント・コンペ大会：富合中学校
- 11/14 熊本医療・保健・福祉団体協議会臨時理事会：熊本県医師会館
- 11/16 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 11/18 日本理学療法士協会九州ブロック士会長会議：北九州市
- 11/18 九州ブロック士会長会議：北九州市
- 11/21 組織検討特別委員会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 11/27 九州ブロック臨床実習研修会：熊本保健科学大学
- 11/28 法人事業審議委員会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/01 熊本県補装具適正交付検討委員会：熊本県庁
- 12/01 組織検討特別委員会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/07 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 12/07 第3回部長会議：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/09 熊本県プライマリ・ケア研究会打ち合わせ：熊本県医師会館
- 12/13 新公益法人移行相談：熊本県庁
- 12/14 第10回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/15 阿蘇圏域内脳卒中地域連携リハビリ推進事業に係る連絡会議：熊本県医師会館
- 12/16 管理者教育カリキュラム：熊本保健科学大学
- 12/19 組織検討特別委員会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/21 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 12/22 公益法人対策特別委員会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/25 公益法人対策特別委員会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/28 公益法人対策特別委員会：協会事務所
- 01/04 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 01/05 公益法人対策特別委員会：協会事務所



会員数 (H23. 12. 31 現在)

賛助会員 10社 休会会員 147名

ブロック名	施設数 ()内の自宅会員数を 含んでいます。	会員数
熊本市	254 (54)	1152
県北	62 (10)	191
八代	71 (9)	221
天草	37 (1)	82
県南	16 (1)	39
合計	440 (75)	1685

掲示板

■ 異動や変更の届出は期日前でも受付可能です。特に県外へ異動予定の方は早めの提出をお願い致します。なお、今年度受付を **2月29日(水)** 到着分までと致します。

■ 「県外異動」、「入会」、「休会」、「復会」、「退会」に関し熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。

各種届出書式に関しましては、熊本県理学療法士協会会員名簿をご参照下さい。ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

なお、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。

■平成23年度会費納入について

会費未納の方へは個別に納入のご連絡をさせて頂いておりますので、速やかに手続きをして頂きますようご協力をお願いします。

なお、ご不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。

会費銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000円
名義：社団法人
熊本県理学療法士協会
理事 北里堅二
電話：096-389-6463
住所：熊本市小山2-25-35



天草ブロック

水田 順司

新年明けましておめでとうございます。昨年は日本中を震撼させるほどの震災があり、様々な思い、考えを持たれた年になったのではないかと思います。私も年賀状には“絆”の文字を入れさせていただき、改めて家族や仕事などを通し仲間の大切さを感じた年となりました。また、見られた方も多いかと思いますが、年末の紅白歌合戦では長渕剛さんが震災の被害を受けた門脇小学校のグラウンドで熱唱した姿に心打たれました。早くこの日本が元気になることを思っています。

さて天草ブロックの活動ですが、11月に臨床3年目の先生方により「関節可動域制限への取り組み」と題しまして、本年の年間テーマであります関節可動域の改善について症例報告を交え発表していただきました。まずは慈恵病院の谷崎瑞穂先生より『脳梗塞発症後の手関節可動域制限について』橈骨手根関節と手根中央関節へのアプローチの比較、上天草総合病院の吉田彩希先生には『THA後の股関節可動域制限について』筋の作用に注目し、靴・靴下の着脱へのアプローチ、東整形外科の姉川由佳先生には『腰痛症患者の体幹可動域制限について』体幹の動きについて評価し、内臓や膜のつながりから可動域改善へつなげた症例を報告、天草地域医療センターの藤元雄太先生には『半月板損傷後の膝関節可動域制限について』筋・関節周囲組織の疼痛に着目し、それを改善することにより可動域の改善がみられた症例について、天草慈恵病院の中野将輝先生には『大腿骨頸部骨折術後の膝関節可動域制限について』膝関節屈曲時の生理的運動の誘導が可動域改善に与える影響について各々の先生方の考えを元に発表していただきました。天草ブロックの活動では特に若いセラピストの先生方に定例勉強会やブロック活動に積極的に参加していただきたい思いがあり、定例勉強会でも発表の機会を設け、日頃の臨床で

行っているアプローチについてアウトプットしていただくことにより、考えを整理し今後の臨床に活かしていただく事目標に行っております。また、同期の先生方で一緒に勉強会を開催することにより横のつながりを作ることも重要視しております。このつながりが先々の天草ブロックの活動に大いに役立っていくものと思っております。次年度以降もこの様なでの発表を継続していきますので、該当される先生方はよろしく申し上げます。



今後の天草ブロックを担う先生方
(上：左より中野先生、藤元先生、下：左より吉田先生、姉川先生、谷崎先生)

12月には執行部会議と忘年会を開催いたしました。執行部会議では来年度の予定と今後の天草ブロックの方向性について話し合いを行いました。忘年会ではちゃんこ鍋を囲みながらサプライズな報告があったり、時には真面目な話をしたりと終始和気あいあいと楽しく過ごすことができ、次年度に向けて少しずつ結束ができてきたかと思えます。

最後になりますが、天草では2月の学会に向け最後の調整に入りつつあります。皆様もご多忙とは存じますが、是非多くの方に学会に参加いただければと思います。

県南ブロック

新穂 大輔

明けましておめでとうございます。ついに2012年のオリンピックイヤーを迎えました。先日、1月2、3日に開催された「箱根駅伝」では、東洋大学が2年ぶりの優勝を大会新記録で勝ち取りました。往路・復路ともに制覇し、2位におよそ9分の差をつけ東洋大学の圧倒的な強さの目立つ大会でした。昨年は東日本大震災にて地震・津波・放射能汚染など甚大な被害を受け、新しい年を迎えた今日もその影響はまだ残っており、復興に向けての普及作業や様々な活動が続いているよ

うです。そんな中始まった今年はいったいどんな一年になるのでしょうか？

さて、最近の県南ブロックの活動ですが、11月末に症例検討Ⅱの発表会を開催しました。2名の発表があり、限られた時間の中ではありますが有意義なディスカッションができたのではないかと思います。私もPTとして働くようになり10年が経ちますが、2人の発表を聞きながら、改めて一人の患者さんとしっかりと向き合い、評価・治療・支援などを行っていくことの重要性和やりがいを感じさせられました。また、新たな気持ちで日々の臨床に携わっていきたいと思います。

新年が明け、県南ブロックの活動も残り少なくなってきました。私事ではありますが、本年度を持って次期ブロック長に仕事を引き継ぐこととなります。県南ブロック長としての活動も残り3ヶ月になりますが、今後とも会員のみなさまの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

八代ブロック 塚島 靖博

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

八代ブロックの活動としては、1月15日に松橋地区の症例検討Ⅱがメディカルカレッジ青照館で開催されます。8名の先生により演題発表の予定です。

演題をみると、県学会やそれ以上の学会でも通じるようなものです。まだ、抄録は見えていませんが、当日が楽しみです。発表者だけでなく沢山の先生方に来て頂いてアドバイス頂けるといいですね。朝晩と寒い日が続いていますが、今朝人吉は-4℃。浴室の窓が凍りついて開きませんでした。完全防寒で自転車通勤していますが、約10分間ですが、非常につらかったです。職員にも風邪など体調不良者が出てきています。忘年会・新年会で緩んだ心と体を引き締めて、新年の目標を達成できるように、皆さん頑張ってください！

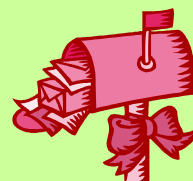
今年も宜しくお願い致します。



広報誌「かくどけい」

投稿規定

- 1) 本誌の目的
本協会誌「かくどけい」は、(社)熊本県理学療法士協会の広報誌で、会員、行政並びに関連団体に対する広報及び情報提供を目的に発行されるものです。
- 2) 発行日及び発行回数
奇数月の月末 6回/年
- 3) 投稿者の資格
投稿は原則として会員のみとします。ただし、広報部が認めた場合は、この限りではありません。
- 4) 投稿の方法
下記提出先に連絡後、原稿は原則としてメールで送付してください。郵送、FAXでの投稿も可能です。
- 5) 投稿記事の内容
理学療法全般に関する事項(活動、研究、研修会案内など)を対象とします。原稿中に他人の著作権に係る著作物を引用した場合は、出典を記載し、できれば著作者に了解を得てください。また、次に該当する原稿は掲載いたしません。
 - ・他人を誹謗・中傷するような記述のある原稿。
 - ・不正確、未確認な事項に係る記述のある原稿。
 - ・プライベートな事項に係る原稿、品位を損ねる記述のある原稿。
 - ・営利目的の広告、求人広告。
- 6) 原稿の量
原稿は概ね2000字前後(A4用紙1枚)で完結するように作成してください。
- 7) 原稿の締切り
奇数月の第1土曜日までに提出してください。
- 8) 原稿の採択
受理した原稿は広報部が「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。掲載の可否について広報部にて決定できないものは、理事会で審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。
- 9) 原稿送付先および問合せ先
(社)熊本県理学療法士協会
広報部部长宛



1. 趣旨と目的

国民の生命の維持と健康の増進にとって重要である医学の研究を助成するため、主として熊本県内の大学、研究機関又は病院における整形外科学及びリハビリテーション医学に関する基礎的、臨床的研究を助成するために公益信託を設定し、これにより研究者の育成と医学の振興に寄与することを目的とします。

2. 助成内容

研究助成

整形外科学及びリハビリテーション医学に関する基礎的、臨床的研究で有望かつ優秀と認められるもの。

交流助成

- ・国内交流 学会シンポジウム等の開催又はこれらへの参加、受け入れなど。
- ・国際交流 海外出張、外国人研究者来訪交流など。

その他の助成

論文の印刷、翻訳、出版などに係る費用の援助。

3. 助成対象

原則として次のものに所属している研究者又はそのグループ。(但し、優れた研究を行なっている者として運営委員会が認めたときは所属を問わない)

- ◇熊本県内の大学又はこれに付属する研究機関。
- ◇熊本県内の研究機関又は病院であって、国、地方公共団体、民法34条により設立された法人又は法律により直接設立された法人に付属するもの(個人病院を除く)。

4. 助成金額

上記「2. 助成内容」に対する助成金は、1件当たり、25万円～100万円とし、運営委員会で決定する。

5. 選考と決定

運営委員会の審査選考に基づき決定する。

6. 申込み方法

所定の助成申請書により申込む。

7. 申込み締切り

平成24年4月27日(金)(当日消印有効)

8. 選考及び通知

募集締切り後に開催する本基金運営委員会において選考決定の上、平成24年6月頃にその結果をお知らせします。

9. 助成金の交付

助成決定後すみやかに交付。

10. 報告の義務

「助成金使用報告書」の提出を求める。

【申請書の提出先・問い合わせ先】

〒100-6611

東京都千代田区丸の内1-9-2

住友信託銀行 リテール企画推進部 公益信託チーム

玉井記念整形外科科学研究助成基金 申請口

TEL : 03-3286-8218(受付: 平日9時~17時)

FAX : 03-3286-8792

先端医療シリーズ 40

『リハ医とコメディカルのための

最新リハビリテーション医学』

編集主幹 上月正博、芳賀信彦、生駒一憲

編集顧問 赤居正美、木村彰男

先端医療技術研究所

本書は、リハ科医および関連職種のみならず、研修医、学生など広範囲な方々にも出来るだけ分かりやすく簡潔に記載されており大変分かりやすく、最近のリハビリテーションの潮流を説明されています。

内容はオムニバス形式となっており、例えば軟骨欠損に伴うアテロコラーゲンゲルを用いた自家培養軟骨細胞移植とその後のリハ内容、リハビリテーション支援技術(Assistive Technology)の紹介、ブレイン・マシン・インターフェイス(BMI)の紹介、脳卒中麻痺への新しいアプローチの紹介、脳性麻痺の新しいアプローチ、痙縮の新しいアプローチ、など整形から中枢、ハード面からソフト面まで幅広く紹介されており、一読されるとなにかしら新しい発見があると思います。

私も本書を紹介するにあたり読ませて頂きましたが、新しく聞く事ばかりで大変参考にさせて頂きました。オムニバス形式という事もあり、大まかな内容までの紹介となっていますが、一読して頂くと何かのきっかけになると思います。また、詳しく知りたくなった場合には、協会で所有している書籍の中にも関連した物がいくつかありますのでご連絡頂けると幸いです。

(文責 岩田輝彦)

『理学療法リスク管理マニュアル第2版』

聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部 著
三輪書店

近年、理学療法士には、理学療法開始時期が早まった事や、対象疾患が拡大してきた事で、今まで以上に膨大な知識・技術が必要とされています。本書は、私達の患者が擁するリスクを把握し、安全性を配慮(リスク管理)するうえで必要な知識・技術がエビデンスに基づいて紹介されています。

内容は1.脳血管疾患、2.循環器疾患、3.糖尿病、4.呼吸器疾患、5.整形外科疾患、6.加齢と転倒の6章からなり、それぞれの疾患について、詳細な病態の説明とともに疾患特有のリスク、リスクに対するモニタリングの方法、具体的なプログラムまでが紹介されています。脳血管疾患では病型別のリスク管理が紹介され、循環器疾患では急性期から予防まで、時期に応じたリスク管理が紹介されているので、各疾患専門の書物を水準そのままに一冊にまとめた書籍であると思います。また、各疾患の章には、多臓器疾患・他疾患との関連というテーマで他の臓器や疾患への影響も紹介されているので、本書読み進めていくと、独立したリスク管理の知識が体系だって構築されていくのが感じられると思います。

本書は、急性期だけでなく、回復期や在宅での増悪や予防に関するリスク管理、合併症としてのリスク管理までも紹介されているので、急性期で働く理学療法士だけでなく患者に対応する多くの理学療法士の一助となると思います。

(文責 仁田脇宣男)

大 観 望

『聴き方』の技術』

学術部部長
熊本機能病院
今屋将美

突然ですが、皆さんは人の話をよく聴けていますか？多くの人は聴くことが当たり前に行けると思い込んでいますが、実は「聴き方」には技術が必要です。今回はこの「聴き方」について、3つの技術を簡単にご紹介いたします。

1. 相手に「意識の矢印」を向けて聴く

私たちは話を聴くと何かしら反応が起こります。例えば、「昨日飲みすぎたんです」と聴くと、「お酒・・・」「新年会・・・」などと勝手に想像してしまいます。このような反応は「意識の矢印」が自分に向いている状態といえます。1つ目の技術は「意識の矢印」を相手に向けて聴く技術です。この場合は、「何を飲みすぎた？」「それでどうなった？」など、推測をせずに相手から聞き出すようにします。聴き方のコツは自分の親指を相手に向けて聴くようにすると自然と意識できるようになります。このような「聴き方」は相手の期待感・有能感・責任感を高める効果があるといわれています。

2. 「事柄」だけではなく「人」を聴く

話が長引く割に内容が一向に深まらない「聴き方」の多くは、聴き手の意識が「事柄」ばかりに向いて、「人」に焦点が向いてない場合に起こります。相手と深い話がしたいときは、話し手である「人」に焦点をあて、相手の懐に踏み込んでいく必要があります。聴き手は相手の願い、信念、感情に焦点をあてて聴いていくようにします。例えば、「あなたは□□についてどうおもいますか」「○○さんはそんな中でどうしたいですか」などと問いかけます。話し手の世界に入って聴くコツは、相手と肩を並べ、横に並ぶような感覚で話を聴くとうまくいきます。

3. 相手の話を見て・聞いて・感じる

相手の言葉だけではなく、話、体験そのものを聴きましょう。それにより、話し手は未来の目標や過去の経験をリアルに体験できます。聴き手は五感をフルに使って聴き、相手の体験がイメージできたら、それを相手に伝えることも効果的です。

以上、3つの技術についてご紹介しました。私自身、十分に人の話が聴けているとは言いがたいのですが、どの方法も自分の意識付けによって行えるものばかりです。「よ

く聴ける」ということは、「よく話してもらえ」ということです。まずは身近な相手からこの「聴き方」を試していただき、自分や相手との間にどんな反応が起こるのか体験してみませんか。

(参考文献：宇都宮出雅巳、絶妙な「聞き方」の技術、2006、明日香出版)

『チャレンジ!』

学術事業部部長
比企病院
岩田輝彦

新年明けましておめでとうございます。

今年2月19日に第1回熊本城マラソンが開催され、歴史めぐりフルマラソンに9000名、城下町4kmに1000名、ロードレースに150名、合わせて10150名のランナーが熊本市内を駆け抜けます。

フルマラソン42.195km。何かきっかけがないとそんな距離を走る機会はどうそうないと思います。今回、同僚が昨年開催された天草マラソンに初めて参加しました。同僚は普段から運動している様子がありませんでした。運動といえば自転車で通勤したり、遠くへ出かけていたりしていたのは知ってはいましたが、少し無謀な挑戦に思えたので、私も他のスタッフも「練習しとかなないと…」等と老婆心ながら声をかけていたのですが、当人は楽観的な表情で「ボチボチやっているんで、大丈夫です」という返事が返ってきていました。そして、大会当日、勤務しているとメールで「無事にゴール出来ました」との報告があり、ホッと胸を撫で下ろしました。その時に何かに挑戦するという気持ちを彼に見たような気がし、自分も何かにチャレンジしなくては！という気持ちになるきっかけをくれたような気がします。

2012年が区切りよく始まったばかりですので、まずはチャレンジする事を探して、今年を“チャレンジした年”にしていきたいと思えます。熊本城マラソンにランナーとして、ボランティアとして参加される方、怪我の無い様に楽しんで“チャレンジ”出来ますようご祈願致します。また、同日に天草で行われる熊本県理学療法士学会に参加される方は、同会場での紹介や貸し出しを学術事業部のブースで行う予定です。足を運ばれた際には是非お立ち寄り頂いて書籍を借りる事に“チャレンジ”して頂きたいと思えます。

理学療法士会 便り 大阪

『臨床実習で学ぶべきもの、 伝えるべきもの』

私自身、理学療法士の養成校教員として19年目を迎えた今年も、最終学年の学生が臨床実習を終えて学校へ戻ってきた。約2ヶ月間の臨床実習を2期間終えた学生達は、様々な状態で戻ってくる。臨床の場面でいくつもの経験を積むことで成長を示す学生もいれば、自らの力不足を実感したり、社会的に未熟な部分が露呈してしまったりし、自信を喪失してくる学生などもある。近年養成校の急増に伴い、学生の質の低下が言われている。もちろんそういった部分は日々の講義の中でも感じられる面もあるが、最終学年の臨床実習に臨む大部分の学生は、それぞれ不十分な面は多々あるものの理学療法士になって社会貢献することを夢見ていると感じている。

そういった学生に対して、以下のような言葉を実習前に伝えている。「治療、評価の個々の技術や理学療法をすすめる上での思考を学ぶだけでなく、実際の臨床場面で、自分の理想とする理学療法士を見つけなさい。」という言葉である。臨床場面で学生の指導をお願いしている理学療法士の方には申し訳なく感じる面もあるが、学生が臨床で学ぶ4ヶ月足らずで、理学療法士としての技術が高まったり、理学療法士としての思考が深まることはわずかなものだと思っている。それよりも理学療法士としてどのような姿勢で業務に向き合うことが重要なのか、理学療法士としての業務のおもしろさや難しさはどこにあるのかなどを感じ取ることが重要だと思っている。学生自身が理想とする理学療法士に出会うことで理学療法士として進むべき方向を気付きさえすれば、技術や思考能力を向上させる行動につながり、それらは経験に伴って高まって

くると思っている。私自身もそうであったが、新人で入職した理学療法士であってもわずか4ヶ月足らずで技術、思考が飛躍的に向上するとは考えにくく、日々の業務の積み重ねによってのみ向上するものと考えているからである。

一方、臨床場面で実習指導いただく理学療法士の方には、これまで教員と学生という関係を持った方々にも多く協力を頂いている。日々の忙しい業務の中での指導で、大変恐縮しているが、それらの理学療法士の方々にもよく伝えていることがある。それは「学生を指導するときは自分が持っている全てを教えようと一生懸命にならなくても構わない。ただ一生懸命に患者の治療に向き合ってる姿は学生に見せてほしい。」とお願いしている。言葉だけとらえると養成校の教員がそんなことを言っているのかとおしかりを受けるかもしれないが、理学療法士の方が持っている技術や思考能力は、それぞれの経験の中で積み上げられてきたものであり、その全てを学生が理解することは、指導していただく理学療法士の方と同様の経験を積まなくては理解できないものと感じている。しかし私自身も経験があるが、自分が知っていることを学生にも理解してほしいと望んでしまう。もちろんうまくいくこともあるが、患者の治療に携わる上で「これも知っていた方が良い。あれも知っておいた方が良い。」となると学生によっては消化不良を起こしてしまうことがある。そういった場合、私自身「こんなに一生懸命教えているのに、なぜ学生は理解できないんだ。」と考えてしまったこともある。冷静に考えると自分自身が何年かの経験で理解できたものを、学生が数週間で理解してしまうと立場がなくなるのだが。

理学療法教育の中で、技術を高め、思考を深めていくことは重要であるが、細部だけにとらわれすぎず、広い視野で先達は後進の旗印となり、反対に後進は先達を目指すべきではないだろうか。こういったことも理学療法士にとって必要なことだと感じている。

(大阪 No.228)





『第33回九州理学・作業療法士 合同学会に参加して』

朝日野総合病院 京極 大樹

11月19・20日に小倉にて開催された第33回九州理学療法士・作業療法士合同学会に参加しました。今回九州新幹線での当日入りであいにくの空模様でしたが、JR小倉駅から会場の北九州国際会議場からは屋根付きの通路があり、雨に降られることなく会場入りできました。駅からの距離も短く、アクセスの良さを感じました。駅の出口には見上げると合同学会の大きな看板があり、学会ムードを盛り上げてくれます。受付を終えしばらくすると、400年の歴史を持つ小倉祇園太鼓によるオープニングセレモニーが始まりました。非常に大きな太鼓の音とダイナミックな踊りに思わず見入ってしまいました。

私の発表は2日目のため、初日は基調講演や特別講演、市民公開講座を中心に拝聴しました。基調講演では衆議院議員で日本理学療法士協会理事の山口和之先生の講演で、東日本大震災での活動や日本における医療・介護制度の状況を海外の事例と合わせて紹介され、今後の社会保障とPT・OTの役割、展望について熱く語っていただきました。午後からは九州大学病院の細井昌子先生の「心と体の治療学」を聞きました。

我々が臨床の場で遭遇する慢性疼痛を心理学的視点で読み解き、治療介入するといったアプローチについてわかりやすく説明して頂きました。慢性疼痛患者の抱える全人的苦悩に目を向け、背景の心理的葛藤や否定的感情の言語化を促しながら立体的に患者を診察し、対処・サポートしていくといった介入手段は、つい目の前の苦悩に対するアプローチに終始してしまう私にとって大きな刺激になりました。そして今回の学会で最も聞いてみたかった市民公開講座の大野勝彦先生の講演が最後にありました。先生のお名前や作品は以前から存じていたのですが、直接お話を聞く機会は初めてだったので大変楽しみでした。両手を失った悲しみからの復帰と現在に至る活動についてユーモアを交えて面白おかしく語られる先生の懐の深さに感銘しました。

2日目、セッション33地域リハビリテーションにて口述発表を行いました。聴講者も多く、地域リハへの関心の高さを伺えました。当院で取り組んでいる家屋調査・退院前訪問指導への訪問リハ部門の関わりについて発表しました。フロアからの質問もあり、一安心しました。専門学校頃の友人とも久しぶりに出会い、非常に充実した2日間になりました。次回は長崎、そして再来年は熊本での開催です。皆様も振るって学会参加し、交流を深めましょう！

『第33回九州理学・作業療法士 合同学会に参加して』

水前寺とうや病院 岩崎 大輔

平成23年11月19・20日に北九州市で開催された第33回九州理学・作業療法士合同学会に参加し、ポスター発表を行いました。

発表は学生の卒業論文以来で、ましてや他の病院・施設の先生方の前での発表なので、日が近づくにつれて緊張が増し、「やっぱやめとけばよかった」と不安に駆られました。また、発表当日はセッションの最後の発表だった為、前の先生方の発表を聞いてもなかなか頭に入らず、緊張が増すばかりでした。事前の模擬発表では、比較的原稿を見ずに流れも良く、言いたい事をしっかり言えましたが、いざ本番となると緊張のあまり頭が真っ白になり、ほとんど原稿を見て詰まりながらの発表でした。何を言っているのか判らず、汗をかきまくりました。しかし発表を終えると、質問・アドバイスだけでなく、自分の研究に興味を持ち、「面白い研究ですね」「もっと研究を深めてまた別の学会で会いましょう」など言ってくれてすごく嬉しかったです。また、免許を取り2年足らずの自分の発表が、今後のリハに何かしら貢献できているような感じがしました。

今回の研究結果やその考察を行う中で多くの事を学習し、さらに多くの方々にアドバイスを頂きました。自分だけでは気付かなかった事を色々教わり、とても勉強になりました。今後も今回の研究テーマを継続するだけでなく、他の分野においても研究を行い、多くの学会で発表していきたいと思っています。

付け加えて、学会公演の先生方が共通して言われていた事は、『どんな人でも将来は必ず障害を持つ』という事でした。また、大野勝彦先生の話の中では、患者様の要望を「危険だから、危ないから」と治療者が限界を決め、諦めているという現状があったと言われていました。実際医療の現場に立ち、リハを行っていく中でこのような事は多いと思います。私たちは患者様が良くなる為に色々な方向からアプローチを行い、関わった方々に情報を提供する事が役割だと考えます。患者様がより良く社会復帰できる為に、私はもっと色々な知識や技術を身に付け、もっと患者や家族の身になって考えていかなければいけないと感じました。

今回の学会を通じ、発表準備や発表時の大変さ、発表後の達成感、多くの先生方からの温かい言葉、公演の先生方からの普段聞けない貴重なご意見や体験談など、多くの事を実感・体感し仕事だけでは学べない事や発表する事の大事さなど多くの事を学びました。今後この学会参加を期に、学んだ事を少しでも多く取り入れたリハを積極的に行い、患者や家族に対して「生きがい」ある社会復帰ができるようにサービス提供をしていきたいと思っています。



よろず運動療法相談所

小児小委員会

「どんなオモチャを買ってあげていますか？」

皆さんは、我が子や親戚、友人の子どもにどんな“オモチャ”を買ってあげていますか？“オモチャ”は、子どもにとって、あるいは大人でも日常生活を豊かなものにしてくれるとても大切なものではないでしょうか。

今回は、0～3ヶ月までの子どもにどんな“オモチャ”がいいか紹介しようと思います。

まず、オモチャを紹介する前に**0～3ヶ月頃までの発達特徴**を考えてみましょう。

- 生後何もできない状態から、心身共に急激に成長、発達してきます。
- 自分自身の身体に気づいたり、周囲の親に気づけるようになります。
- 首がすわり、手が少し使えるようになります。
- 周囲に笑いかけたり、声を出して笑うようになります。
- 見るのが上手になり、注視、追視が徐々にできるようになります。そして、色は明るい白っぽいものが好きで、人の顔のような図柄を好んで見ます。
- 周囲の音を聞くことも上手になり、人の声と物音の弁別が徐々に上手になります。
- 味覚（甘、塩、辛、酸の識別）や嗅覚もある程度分別できるようになります。

子どもの発達に応じた遊びとオモチャ

0～1ヶ月頃は、寝ている時間が多く一日の2/3は寝ています。起きているときもぼんやり周囲を見渡していることが多いですので、少し明るいものや動くものは興味深く見てくれます。**外の明かり、蛍光灯の明かり、天井から吊り下げられたクルクル回るオモチャ**（図1）などに興味を示します。そして何よりも**お母さんやお父さん**（図2）の**声かけや抱っこ**が何よりも好きです。ちなみにこの頃とても視力が弱く30cm程度の距離でピントが合いますのでそのくらいの距離で優しく話しかけてあげるといいです。

2～3ヶ月頃は、徐々に自分や自分の周囲の存在に気づきはじめ自分自身や周囲の物に興味をみせ始める頃で、お母さんやお父さんがかかかわると表情豊かに答えてくれます。この頃でもやはり**お母さんお父さんが一番の遊び相手**で、抱っこして優しく話かけたり、寝た状態で、全身をマッサージしたり、体を軽く動かしてあげるといいです。また、オモチャで遊ぶ場合は、0～2ヶ月で用いた、**天井から吊り下げたオモチャ**や**手に持ち振って音を出すもの、口で舐めて探索できるもの**（図3、4、5、6）よく遊んでいます。オモチャがなければ**ハンカチや車の鍵**などもよく持って遊んでいます。

以上0～3ヶ月までの様子をまとめてみました。子育てや小さい子どもさんと接する場合の参考にしていただければと思います。今後も“オモチャの選び方”をご紹介しますと思います。



図1

吊り下げるオモチャ



図2

お母さんと赤ちゃん



図3

キラキラのオモチャ

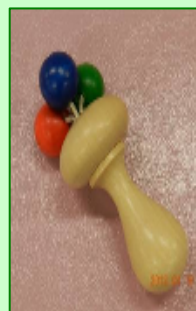


図4

木製のオモチャ

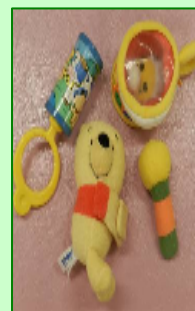


図5

布製のオモチャ



図6

ガラガラ

医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

らくらくばさみ

ハサミを使うとき、指がうまく曲がらなかつたり力が入らなかつたりなどして紙がなかなか切れなかつたことはありませんか？

「らくらくばさみ」は軽くて疲れにくく、バネが付いているので、手のひら全体でハンドルを軽く握るだけで簡単に切ることができず。逆に力を緩めると刃が自然に開きます。握力の弱い人、指の曲げ伸ばしなど、はさみの刃を開く動きが難しい人に適しています。

右利き用と左利き用があり、ハンドルの色が青は右利き用、緑は左利き用です。

サイズは大小あり、うまく使いこなすには手の大きさに合ったものを選ぶことが大切です。



おやゆび姫

超薄 外反母趾がいはんぼし「用サポーター」

足の親指が変形して小指側に曲がる、いわゆる「外反母趾」。痛みがあったり、長い距離を歩けなかつたりして不自由です。

靴が原因のようですが、実はそれだけではありません。本来の足の機能が少しずつ低下し、足先が弱くなつて変形などが起きるといわれています。

「おやゆび姫」は外反母趾になりかけている人の予防用サポーター。厚さは0.4mmで装着したまま靴下、さらに靴も履けます。

踵にベルトをかけて歩行時のずれを防ぎ、親指部分の立体炮製と開口部で指先にかかる圧迫感をなくし、痛みを減らします。これなら外出時もしっかりサポートしてくれそうです。左用右用があり素足を基準にS・M・Lの3サイズ。洗濯もできて衛生的です。



ペットボトル

ダイレクトキャップ

指の力の低下やしびれがあったり、片手がふさがつていたりすると、ペットボトルのキャップを開閉するのがとても不自由です。かといって緩めたままだと倒れて中身がこぼれる心配があります。

「ペットボトルダイレクトキャップ」は片手で簡単に開閉できる蓋。元からついている蓋と取り換えれば直飲みが可能になります。

親指で白いつまみを押すだけで瞬時に上蓋が180度開きます。飲み口も丁度いい大きさなので飲みやすく、素早い水分補給ができます。

国産ペットボトルなら、ほぼどのサイズにも対応できて便利です。色はブルーとピンクの2色あり、カラクターマスコットがついたものもあるので、きっと子供にも喜ばれると思います。



第16回熊本県理学療法士学会

ブランド キャラクター

～我々は理学療法士である～



日時：平成24年2月19日（日） 会場：天草市民センター 担当：(社)熊本県理学療法士協会 天草ブロック

ラストスパート

学会長 江崎 重昭

現在、第16回熊本県理学療法士学会の準備もラストスパートを迎えております。これまでの準備で、理事会や学会評議委員の先生方には開催のあれこれを。シンポジウムでは講師の先生方にご講演を。演題発表では座長の先生方にご協力を。そして、協会会員の皆様には演題の応募を。など数限りないご支援を賜り天草ブロック会員一同感謝しております。開催まであと2ヶ月あまり、これから寒くなり体調管理が難しくなります。天草ブロック会員はもとより、協会会員の皆様もお体には充分にお気をつけいただき、来る平成24年2月19日天草市民センターにてお会いできる日を楽しみにしております。

ご参加の皆様へ

今回の学会について参加料は無料となりますが、参加人数把握のため別途送付します学会抄録に付いております学会参加申込書に必要事項をご記入の上、受付の際に提出をお願い致します。

生涯学習システム単位認定について

生涯学習ポイントを申請される方は、学会当日に1000円を徴収いたします。学会抄録についております学会参加申込書の生涯学習ポイント申請欄にチェックしていただき、1,000円を添えて受付時に提出して下さい。

なお、学会参加証明書は14時以降にロビーにて配布いたします。生涯学習部の単位認定は、学会当日はできませんので、後日申請を行って下さい。

第16回熊本県理学療法士学会 チラシの配布について

今回、学会としては初の試みであります市民公開講座、市民相談コーナーを企画しております。市民の皆様にも多く広報をしていきたいと考え、ポスターを作成しました。そこで、協会ホームページの天草ブロックにデータを載せておりますので、是非ダウンロードしていただき職場などに提示していただけたらと思います。ダウンロードの方法は、協会ホームページの天草ブロックの行事カレンダーの第16回熊本県理学療法士学会にPDFファイルを添付しておりますので、そこからダウンロードして下さい。

昼食について

会場周辺はレストラン等食事をする場所が少ないため、各自準備されるか、お弁当をお申し込みください（お茶付500円）。お弁当をご希望の方は、協会ホームページの天草ブロックの項目より入り、行事カレンダーのお弁当申し込み受付フォームより必要事項をご入力の上、送信してください。送信後に返信用メールが届きますので、ご確認ください。なお、お弁当の注文は2月5日までとなります。



市民公開講座

理学療法士からみた腰痛治療!!

平成24年

2月19日 

13:00~15:00 (開場12:30~)

天草市民センター大ホール

入場無料

申込不要

▶ 第1部 「理学療法士をご存じですか？」

講師/北里 堅二 社団法人 熊本県理学療法士協会 会長

講師/東 利雄 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 課長補佐

東日本大震災後の被災者支援活動~理学療法士として~

▶ 第2部 「腰痛の基礎知識」

講師/飯星 雅朗 社団法人 熊本県理学療法士協会 理事

▶ 第3部 「腰痛の自己管理法

~腰痛予防体操の紹介~

講師/鍋木 誠 熊本保健科学大学 リハビリテーション学科



相談コーナー

展示ホール
14:00~15:30

- 糖尿病小委員会 …… 例) チョコレートは食べちゃダメ？
- 小児領域小委員会 …… 例) うちの子まだ歩かないんだけど…
- 呼吸領域小委員会 …… 例) 階段を昇る時息が切れるんですが…
- スポーツ領域小委員会 …… 例) テーピングについて知りたいわ!
- 腰痛相談 …… 市民公開講座の講師が対応します
その他、様々な疑問にお答えします!



第16回熊本県理学療法士学会 学会テーマ: ブランド キャラクター ~我々は理学療法士である~
平成24年2月19日(日) 9:30~15:30 天草市民センター(天草市東町3番地)

お問い合わせ先 介護老人保健施設 **ブルーマリン天草** 担当/リハビリテーション部 吉永

TEL(0969)32-2112

市民公開講座に関する電話でのお問い合わせは、8:30~17:00(月~金)の間に
お願いします。 ※上記以外の時間帯でのお問い合わせはご遠慮願います。

当協会ホームページ <http://www.kumamoto-pt.org/>

主催: 社団法人 熊本県理学療法士協会 (担当: 天草ブロック)

PT Walker くまもとの理学療法情報 熊本

★訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門職が、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）を訪問して行われる、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とするリハビリテーションをいいます。

訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

★介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的として、一定の期間、利用者の居宅で提供されるリハビリテーションをいいます。介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について、厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

県内で理学療法士が訪問リハビリテーションを行なっている施設を地区ごとに紹介します

訪：訪問リハビリテーション

予：介護予防訪問リハビリテーション

◆八代ブロック

- 堤病院 訪 予
- 人吉中央温泉病院 訪 予
- ひとよし内科 訪 予
- 外山胃腸病院 訪 予
- 金森医院 訪 予
- おおもり病院 訪
- くまもと温石病院 訪 予
- 球磨郡公立多良木病院 訪 予
- 済生会みすみ病院 訪 予
- 介護老人保健施設 景雅苑 訪 予

◆熊本市ブロック 西地区

- 青磁野リハビリテーション病院 訪 予
- あけぼのクリニック 訪 予
- 聖ヶ塔病院 訪 予
- 山口病院 訪 予



熊本県介護サービス情報公表センターより(平成 23 年 2 月現在)

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)
熊本キャンパス (熊本県熊本市)

【修士課程】保健医療学専攻

医療福祉学研究科

【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野
ナースプラクティショナー
養成分野
助産学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
放射線・情報科学分野
リハビリテーション学分野
生殖補助医療胚培養分野
視機能療法学分野

看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
視機能療法学分野
創薬育薬医療分野
医療福祉経営学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
生殖補助医療胚培養分野
医療福祉国際協力学分野

【修士課程】医療福祉経営専攻

医療経営管理分野
診療情報アナリスト
養成分野
創薬育薬医療分野
がん薬物療法学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
医療福祉ジャーナリズム分野
医療福祉国際協力学分野



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能!
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能! (修士課程)

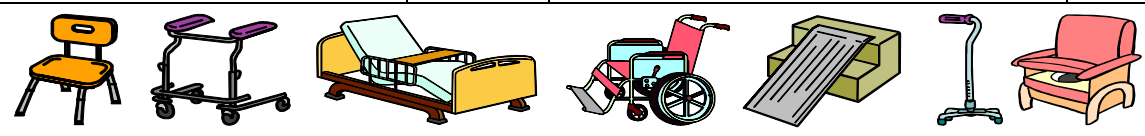
<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1
TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp
【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL:0944-89-2000 E-mail:oocamp@iuhw.ac.jp
【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本総合医療リハビリテーション学院内)
TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



事業予定表

2 月		3 月		4 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	水	1	木	1	日
2	木	2	金	2	月
3	金	3	土	3	火
4	土	4	日	4	水
5	日	5	月	5	木
6	月	6	火	6	金
7	火	7	水	7	土
8	水	8	木	8	日
9	木	9	金	9	月
10	金	10	土	10	火
11	土	11	日	11	水
12	日	12	月	12	木
13	月	13	火	13	金
14	火	14	水	14	土
15	水	15	木	15	日
16	木	16	金	16	月
17	金	17	土	17	火
18	土	18	日	18	水
19	日	19	月	19	木
20	月	20	火	20	金
21	火	21	水	21	土
22	水	22	木	22	日
23	木	23	金	23	月
24	金	24	土	24	火
25	土	25	日	25	水
26	日	26	月	26	木
27	月	27	火	27	金
28	火	28	水	28	土
29	水	29	木	29	日
		30	金	30	月
		31	土		
<ul style="list-style-type: none"> ・熊本城マラソン（19日） ・九州ブロック管理・運営研修会：宮崎市（19日） ・ブロック訪問 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学会評議員会（11日） ・第3回ブロック長・地区長会議（11日） 		<ul style="list-style-type: none"> 第1回保険診療研修会 拡大理事会・第1回理事会 第2回理事会 平成23年度事業監査 	



医療機器トピックス

ミナト医科学株式会社 福岡営業所
〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378

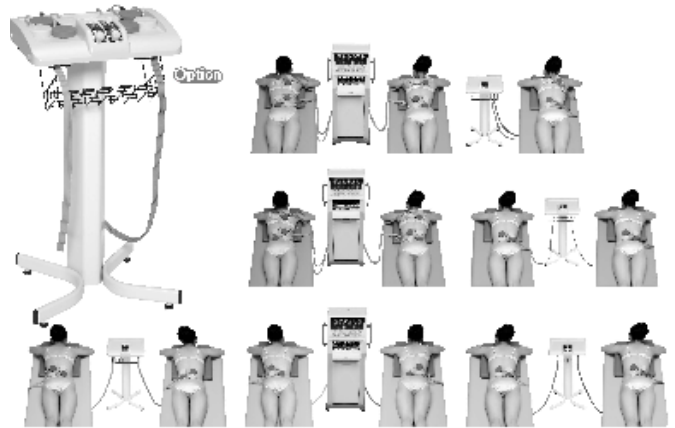
6チャンネルを効率的に稼働させるスタンドリモコン (PAT.P)

干渉電流型低周波治療器 **スーパーカイン**

Superkine
SK-10W DX

新発売

**完全独立6チャンネルにより
治療効率がアップ**

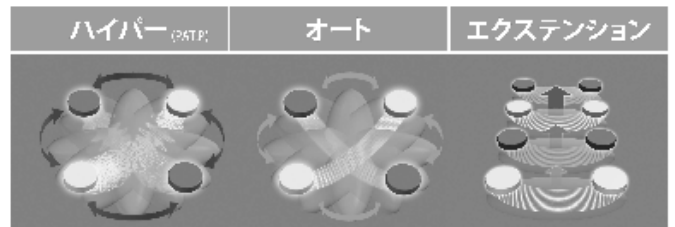


チャンネル毎に治療モードの設定が可能
6台のポンプで全チャンネルを安定吸引



新設計のスリムフィット導子
(PAT.P)
①呼吸がつきにくい軽量設計
②衣服内に装着しやすい薄型設計

症状で選べる新治療モード



編集後記

今年から10年日記をはじめました。日記をつけ始めて15年目。10年前の日記によると、私はPT2年目で脳血管障害のリハに没頭していたようです。今は生活期のリハに没頭しています。この10年でずいぶん視野が広がったと客観的にわかりました。さて、これからの10年はどうなるのか。日記とともに1年1年丁寧に人生を送りたいと思います。(E・H)

社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数 第101号 通算138号
発行日 平成24年1月30日
発行人 社団法人熊本県理学療法士協会
〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
TEL/FAX 096-389-6463

STAFF

佐藤 亮	坂田 大介
江口 宏	岩村 泰年
緒方 美湖	山田祐理子
奥 蘭 彩	富 永 誠
野田 智愛	北岡 千春
渡邊 知子	松本 美香
有馬 正英	古川 晃次
財満 麻美	渡邊 大輔
福田 圭祐	中野 真実
南 留美子	岩見 幸省
野尻 晋一 (表紙)	

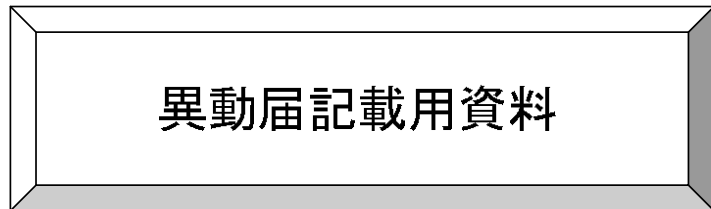


施設区分（Ⅰ）

A群	B群
1	1 厚生省
2	2 文部省
3	3 労働福祉事業団
4	4 旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
5	5 都道府県
6	6 市区町村
7	7 日赤
8	8 済生会
9	9 北海道社会事業協会
10	10 厚生連
	11 国民健康保険協会連合会
	12 全国社会保険協会連合会
	13 厚生団
	14 船員保険会
	15 健康保険組合及びその連合会
	16 共済組合及びその連合会
	17 国民健康保険組合
	18 公益法人（社団・財団）
	19 医療法人
	20 学校法人
	21 会社
	22 その他の法人
	23 老人福祉施設
	24 身体障害者更生援護施設
	25 児童福祉施設
	26 精神薄弱者援護施設
	27 その他の社会福祉施設
	28 個人
	29 その他（含む自宅）

施設区分（Ⅱ）

医療施設	病院	大学病院	1 - 1
		総合病院	1 - 2
		老人病院	1 - 3
		小児病院	1 - 4
		一般病院（上記以外）	1 - 5
		精神病院	1 - 6
		結核病院	1 - 7
		らい病院	1 - 8
		その他	1 - 9
			診療所
医療福祉中間施設		老人保健施設	3 - 1
		訪問看護・PT	3 - 2
		在宅サービス	3 - 3
		その他	3 - 4
福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	4 - 1
		特別養護老人ホーム	4 - 2
		老人福祉センター	4 - 3
		老人デイサービス	4 - 4
		その他	4 - 5
	身体障害者更生援護施設	重度障害者授産施設	5 - 1
		肢体不自由者更生施設	5 - 2
		身体障害者療護施設	5 - 3
		重度身障者授産施設	5 - 4
		身体障害者更生相談所	5 - 5
		身体障害者福祉センター（A・B型）	5 - 6
		その他	5 - 7
	児童福祉施設	肢体不自由児施設	6 - 1
		肢体不自由児通園施設	6 - 2
		重症心身障害児施設	6 - 3
薄弱児通園施設		6 - 4	
その他		6 - 5	
教育・研究施設		養護学校	7 - 1
		PT教育施設	7 - 2
		研究施設	7 - 3
		その他	7 - 4
行政関係施設		保健所	8 - 1
		市町村保健センター	8 - 2
		国県市町村（行政）	8 - 3
		その他	8 - 4
保健（健康産業）		スポーツ関係	9 - 1
		フィットネス施設	9 - 2
		企業	9 - 3
		その他	9 - 4
その他		自宅	0 - 0
		営業（自営・開業）	0 - 1
		その他	0 - 2
		海外	0 - 3



異動届記載用資料

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日			
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日			
フリガナ			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)			
氏 名	姓	名	印				
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度		
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)		
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 [][][][] - [][][][][]						
	住所	都道 府県		電話	FAX		
	Eメールアドレス						
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ						
	名 称						
	所属部署						
	〒 [][][][] - [][][][][]						
	住所	都道 府県		電話	FAX		
施設区分	I	A群	—B群	II	—		
会費納入	本 部 会 費		年度納入済	連絡事項			
	都道府県士会費		年度納入済				
	クレジットカード発行 (○で囲む)		済 未				

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄>

<士会受付番号> _____

_____ 士会事務局長 _____ 印 _____ 平成 年 月 日

< 個人情報について >

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会 退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

